



きずな

トラック協会杯 第29回全道U-11 少年サッカー大会 札幌地区予選

札幌ジュニアFC、北海道コンサドーレ札幌(C)、NORTE札幌、SSS札幌サッカースクール、北海道コンサドーレ札幌(A)、アグリファイブ、札幌大谷地

全道大会進出おめでとう！！

札幌で開かれる全道大会の札幌地区代表を目指して7ブロックに分かれて各会場で熱戦を繰り広げました。結果、上記7チームが全道大会に進出することになりました。

Aブロック代表決定戦		
8月27日(日)江別美原サッカー場(A)		
札幌ジュニアFC		札幌藻南FC
2	0-0 2-0	0

Aブロック決勝は札幌ジュニアのキックオフで代表決定戦1試合目がスタート、札幌ジュニアがロングボールで藻南陣地へ攻め込む、2分藻南FC⑩から⑨にパスが渡りクロス⑧がシュートを放つもゴール枠の外へ、4分札幌ジュニアが左サイドから右サイドへサイドチェンジ⑩がミドルシュートもゴールを外す、その後も⑭、⑩とゴールに向かい仕掛け続けるもゴールまで行けず、8分藻南

FC⑩が⑥からロングパスを受けシュートするがゴールならず、その後札幌ジュニアは⑩がドリブルからのパスを組み合わせ攻撃のリズムを作り続ける、14分藻南FCが札幌ジュニアゴール左でFKを得るも⑥のシュートはGK正面へ、前半最後のプレーは藻南FCが⑥がシュートを放ちゴールの上を通過したところで前半終了。

後半最初に仕掛けたのは藻南FC、左サイドを⑨を中心にドリブルで札幌ジュニア自陣深くまで仕掛ける、18分に札幌ジュニア⑩のスルーパスに②がラインギリギリを抜け出しGKと1対1になるもゴールならず、互いに早い攻守の切替でなかなかゴールに向かえない時間が続く27分札幌ジュニアのCKを⑩がファーサイドであわしゴール、待望の先制点を獲得し勢いにのった札幌ジュニアが30分に⑪が抜け出しGKと1対1も藻南FCのGKがセーブ、30分に札幌ジュニアがCK、ここでも⑩が飛び込みヘディングでゴールを決めてそのままタイムアップ、互いに早い攻めと粘り強い局面の攻守の切替が光った試合となった。

Bブロック代表決定戦		
8月27日(日)江別美原サッカー場(B)		
北海道コンサドーレ札幌(C)		AGGRE U-12
2	0-0 2-0	0

Bブロック決勝はAGGREのキックオフで試合が始まった。コンサドーレCは静かな立ち上がりで一方のAGGREは試合前から気合十分で、対照的な序盤となった。試合序盤から激しい中央

付近での攻防となり、コンサドーレCは⑩と⑪のパス交換などで数度チャンスをつくるも得点に至らず、AGGREは懸命な競り合いから⑬がDF裏に抜け出し得点機をつくるもゴールポストに阻まれるなど前半は両者譲らず互角の試合運びとなった。

後半も同様の流れを予想していたが後半開始直後の1分にコンサドーレCは中盤から左サイドに流れたボールがFW⑬にパスがつながりDFに詰められる前にセンタリングのようなハイボールを蹴ったところGKの頭上を越えてそのままゴールに吸い込まれ先制した。AGGREは出鼻をくじかれたが追いつこうと必死にボールを奪いコンサドーレC、DF裏へのミドルパスで何度かチャンスをつくるもゴールを奪えずAGGREが押し気味だった終了間際の後半14分にはカウンターで一瞬の隙を⑪がつきDF裏へ抜け出しダメ押しのゴールを奪った。そのまま試合が終わりコンサドーレCが全道への切符を得た。振り返るとコンサドーレの球際の強さが光った。AGGREは前半を互角に戦っていただけに後半開始直後の失点が痛かった。



Cブロック代表決定戦		
8月27日(日)江別美原サッカー場(A)		
NORTE 札幌	北海道コンサドーレ 札幌 (B)	
2	1-1 1-1 0延前0 0延後0 3PK2	2

コンサドーレBのキックオフで開始、立ち上がり丁寧に試合を進めるコンサドーレBに対しNORTEがチーム全員でプレッシャーをかけ続ける。3分にコンサドーレB⑧と⑦で崩し⑦のシュートもNORTEのGKがセーブする。コンサドーレがサイドをかえながら攻撃のチャンス进行、NORTEも左サイドを起点に攻撃を仕掛ける。6分コンサドーレB⑧が抜け出しシュートもGKがセーブ、8分NORTE②が相手自陣センターサークル付近でFKを直接狙うもクロスバーに直撃しチャンスを決められず、9分コンサドーレB⑤がウラへ抜け出し⑥からのパスを受けると⑤がそのまま冷静にシュートしゴールを決める。10分NORTEのCK、相手のクリアがこぼれたところに③が反応しミドルシュートをゴールに決め同点、振り出しに戻す。その後はお互いチャンスを作れずに前半終了。

後半は開始直後からNORTEが前半同様に相手自陣でプレッシャーをかけ続ける。それに対しなかなかリズムを作り出せずNORTEゴールまで向かえないコンサドーレBだったが徐々にピッチを幅広く使い攻撃のリズムを作り出す。8分にコンサドーレB⑤のクロスに④・⑪と飛び込むがあわすことができずチャンスをものにできない。10分、NORTE⑧のクロスに⑦がフリーであわせゴールを決めNORTEが逆転する。12分、コンサドーレB②が相手自陣センターサークル付近でFKを直接決め同点に追いつく、14分にコンサドーレB⑪、⑤と立て続けに攻め立てシュートをするもNORTEのGKがセーブする。ロスタイムにコンサドーレB③がシュートを打つもこれもGKがとめ同点のまま延長戦へ。

延長戦は3分3分の前後半、3分という短い時間の前半は、ほとんどチャンスが生まれずに延長後半へ、NORTE②がロングシュートを放つもゴール横へ流れる、延長後半2分コンサドーレBにCK、NORTE②がクリア、コンサドーレBはNORTEの堅い守備をやぶれずに延長終了、PK戦へ突入し先行コンサドーレB②が決める、後攻NORTE②も決める、コンサドーレB⑥のシュートはGKが足でセーブしノーゴール、NORTE⑤がシュートを決める、後が無いコンサドーレB⑦がシュートを決める、最後決めれば勝ち、GKが止めればPK延長、緊張高まる3人目最後のNORTE⑧がゴール右上に決めてNORTEが厳しいゲームを制し代表をものにした。

Eブロック代表決定戦		
8月27日(日) 江別美原サッカー場(A)		
石狩FCレッド	クラブフィールズ	
1	1-1 0-1	2

Eブロック決勝はフィールズのキックオフで開始、前半1分フィールズのFK、⑬が直接狙うがGK正面、3分石狩⑰がドリブルで突破し最後は⑩がシュートもGK正面、フィールズは⑳を中心に左サイドから攻撃をしかける、5分フィールズの右からのCKがゴール左ポストに当たり直接ゴール。フィールズが待望の先制点を獲得する。石狩は⑩を中心に攻撃のリズムを上げていく8分石狩⑩がミドルシュート、クロスバー上を通過していく、9分石狩③が2列目から抜け出してパスを受けクロスあげる⑩がシュートするもブロックされる、石狩が空いたスペースを見逃さずに攻撃をしかける、フィールズも翻弄されるが最後は体を寄せゴールを守り続ける。14分石狩の⑩がミドルシュートを豪快に決め同点に追いつく、15分石狩⑩がFK、クロスバーを直撃し前半終了

後半は互いに玉際の厳しさを持って守備をする、3分その玉際を競りフィールズ⑳が2人に挟まれるもドリブル突破し、ゴール右端に決めて2-1とする。石狩はボールを動かし何度もフィールズゴールに迫るがフィールズGKのセーブによりゴールを奪えない。11分石狩⑨がシュート、GKが弾き⑩がつめるもGK正面、13分石狩のCKを③が飛び込むも合わせられずにボールが流れていく、15分石狩⑩のシュートがゴールに吸い込まれるかのような弾道だったがクロスバーのうえを通過し攻め続けた石狩だったがフィールズの粘り強い守備を崩せずにフィールズは最後まで気持ちを切らさず戦い抜き、代表の座を勝ち取った。



Dブロック代表決定戦		
8月27日(日)江別美原サッカー場(B)		
SSS札幌サッカースクール	SS.LAVORO	
4	1-0 3-0	0

SSS札幌のキックオフで試合が始まり立ち上がりからボールを支配したSSS札幌が左右への大きなパス回しで押し気味に試合を進めた。SS.LAVOROは前線から必死にプレスをかけた。6分に試合が動く、SSS札幌は左サイドから折り返したボールがゴール正面の⑨につながり、冷静にゴールに流し込み先制した。その後も流れは変わらなかったがSS.LAVOROはしぶとくしのいだ。

後半に入ってもSSS札幌はパスをつなぎ得点機を伺い、SS.LAVOROは激しくプレスをかける構図となった。次第にSS.LAVOROの疲れが見えた後半5分にはSSS札幌⑨のシュートをGKがこぼしたところを素早く詰めた⑪がゴールに押し込み2点目を奪った。さらに後半10分には右CKのこぼれ球を⑤がシュートし加点。後半11分には⑨がDFをかわし4点目を奪った。SS.LAVOROは試合をあきらめずに最後まで必死にボールを追ったが終始SSS札幌が試合を支配し安定した試合運びで全道へ駒を進めた。

Fブロック代表決定戦		
8月27日(日) 江別美原サッカー場(B)		
北海道コンサドーレ 札幌(A)	Fibra FC	
4	4-0 0-0	0

コンサドーレAのキックオフで試合が始まり、個の技術の高さから生まれる落ち着いたパス回しから好機をつくった。1分にコンサドーレAは左サイドでDFをかわし折り返したボールを⑩がゴールへ流し込み先制。3分には⑨が中盤から駆け上がりゴール右に流し込み2点目。5分には⑨がミドルシュートで加点。10分には⑨が右サイドを抜け出し中央にいた⑮にパスをつなぎダイレクトシュートで4点目を奪った。Fibra FCはプレスで奪ったボールをDF裏へ高く長いパスで数度好機をつくるもDFとGKに阻まれ決定機をなかなかつくれなかった。

後半に入ると目が覚めたのか、一転してFibra FCが優勢となりコンサドーレAサイドで試合が進みパスを回せるようになったがシュートまで至らずゴールを奪えなかった。後半はこう着状態が続き互いに得点が生まれなかった。そのまま試合が進み試合終了のホイッスルが鳴った。前半の4点が効きコンサドーレAが全道大会への切符を得た。

なお、試合終了間際にはFibra FCのGKは、相手ボールにもかかわらず、ゴールラインを割ったボールを走って拾いに行き、主審からフェアプレーとして、グリーンカードが示された。

Gブロック代表決定戦		
8月27日(日) 江別美原サッカー場(A)		
イーストガンバ	札幌大谷地	
0	0-2 0-1	3

Gブロック決勝は札幌大谷地のキックオフで開始、開始早々左サイドを起点に前半6分札幌大谷地⑳のセンタリング気味のロングボールがゴール左隅へ突き刺さる。前半終了間際にイーストガンバ⑩が立て続けに2本シュートチャンスを作るもGK正面とチャンスをもものに出来ず前半を終了する。

後半キックオフ直後にイーストガンバ⑫が強烈なシュートを放つもGKの正面、後半2分札幌大谷地④のドリブルでの中央突破からシュート、GKのこぼれ球を㉑が押し込んで3点目、その後はお互い決定的なチャンスを作れないまま試合終了のホイッスルが鳴り試合終了。

札幌大谷地が札幌地区予選最後の全道大会進出の切符を勝ち取って札幌地区予選を終了する。